

相談窓口

●発達障がいに関すること

●発達障がい者支援センター(山市) TEL : 023-673-3314

●幼児期のお子さんの発達に関すること

●お住まいの市町村の母子保健担当

●通っている幼稚園・保育園・認定こども園

●県立知的障がい児施設

・療育相談支援センター「陽だまり」
【最上学園】(新庄市) TEL : 0233-23-7567

・療育相談センター「おあしす」
【やまなみ学園】(長井市) TEL : 0238-88-9312

・発達相談支援センター「すてっぷ」
【鳥海学園】(遊佐町) TEL : 0234-75-3334

●地域教育相談窓口(月～水曜日)

・県教育センター内(天童市)
《電話相談》 TEL : 023-654-6060

・東根市立東根小学校内(東根市)
《相談・指導》 TEL : 0237-42-3669

・米沢市立万世小学校内(米沢市)
《相談・指導》 TEL : 0238-28-0280

・置賜総合支庁西置賜地域振興局2階
《相談・指導》(長井市) TEL : 0238-87-8287

・鶴岡市立朝陽第二小学校内
《相談・指導》(鶴岡市) TEL : 0235-25-9460

●学齢期のお子さんの発達に関すること

●通学している学校

●県教育センター【月～水曜日】(天童市)
《電話相談》 TEL : 023-654-6060

●障害者手帳や障害福祉サービスの利用に関すること

●お住まいの市町村の福祉担当

●生活や就労等に関すること

●障害者就業・生活支援センター

・村山障害者就業・生活支援センター
「ワークライフサポートふっれ」(山形市) TEL : 023-615-8152

・最上障害者就業・生活支援センター
(新庄市) TEL : 0233-23-4528

・置賜障害者就業・生活支援センター
「サポートセンターおきたま」(長井市) TEL : 0238-88-5357
R6.4月以降の連絡先は、ホームページでご確認ください (R6.3月末まで)

・庄内障害者就業・生活支援センター
「サポートセンターかでの」(酒田市) TEL : 0234-24-1236

●就労に関すること

●地域若者サポートステーション

・山形地域若者サポートステーション(山形市)
【株式会社セラフィム】 TEL : 023-616-3510

・置賜若者サポートステーション(米沢市)
【特定非営利活動法人 With優】 TEL : 0238-33-9137

・庄内地域若者サポートステーション(酒田市) TEL : 0234-31-8383

●障害者職業センター

・山形障害者職業センター(山形市) TEL : 023-624-2102

●ハローワーク※

・ハローワークやまがた(山形市) TEL : 023-684-1521

・ハローワーク米沢(米沢市) TEL : 0238-22-8155

・ハローワーク酒田(酒田市) TEL : 0234-27-3111

・ハローワーク鶴岡(鶴岡市) TEL : 0235-25-2501

・ハローワーク新庄(新庄市) TEL : 0233-22-8609

・ハローワーク長井(長井市) TEL : 0238-84-8609

・ハローワーク村山(村山市) TEL : 0237-55-8609

・ハローワーク寒河江(寒河江市) TEL : 0237-86-4221

※障がい者の方の相談支援を行う専門の窓口「専門援助部門」があります

「発達障がい」について理解を深めましょう!!

山形県健康福祉部 障がい福祉課

発達障がいの特性があると、コミュニケーションや対人関係を作るのが苦手なことがあります。豊かな才能を持っている人はたくさんいます。発達障がいのある方たちが、個々の能力を伸ばし、社会で生き生きと暮らしていくためには、私たち一人一人の理解が必要です。

発達障がいについて知っていただくこと、それぞれに異なる個性や感性を認め合い、互いに支え合うことは、誰もが幸せに暮らすことが出来る社会の実現につながります。皆様の理解と温かいご配慮をお願いします。

毎年4月2日は国連の定めた 世界自閉症啓発デー 発達障害啓発週間：4月2日(火)～8日(月)

毎年4月2日は国連の定めた「世界自閉症啓発デー」です。多くの方に発達障がいのことを理解してもらい、誰もが暮らしやすい共生社会を願って、世界中のランドマークが自閉症のシンボルカラーである癒し・希望・穏やかを表す「ブルー」にライトアップされます。県内でも、山形市の文翔館をはじめとする各所で「ブルー」にライトアップされます。



令和6年度 ブルーライトアップ&関連イベント[山形県内]

ライトアップ	ライトアップ	フォトスポット
山形県郷土館 文翔館 <small>山形県山形市旅籠町三丁目4-51</small>	上山城 <small>山形県上市市元城内3-7</small>	酒田市役所 <small>山形県酒田市本町2丁目2-45</small>
点灯期間 4月2日(火)～8日(月) <small>点灯時間：日没～21時</small>	点灯期間 4月2日(火)～8日(月) <small>点灯時間：日没～21時</small>	設置期間 4月1日(月)～8日(月) <small>8時30分～17時15分 [平日のみ]</small>

お問い合わせ先 山形県健康福祉部 障がい福祉課 〒990-8570 山形県山形市松波2丁目8-1 TEL : 023-630-2240



山形県HPからもご覧いただけます。

山形県 自閉症啓発デー

発行：山形県 協力：やまがたアートサポートセンターら・ら・ら (R6.3月発行)



「発達障がい」ってどんな特性がある？

発達障がいは、病気ではなく脳の発達の仕方の違いによる生まれつきのものです。自閉スペクトラム症(ASD)、注意欠如多動症(ADHD)、限局性学習症(LD)などがあります。

自閉スペクトラム症(ASD)のAさん

こんな一面もあります

急に予定が変わったり、初めてのところに行くと、不安になって動けなくなることがあります。大きな音や人混みも苦手です。また、他の人の気持ちを理解することや、言葉を適切に使うことが苦手で、自分の感じたままに話したり、行動したりすることがあるので、みんなから変わった人だと思われることがよくあります。

- ・よく知っているところでは、一生涯活動できます。
- ・好きなことは、専門家顔負けの知識を持っていて、みんなから感心されます。
- ・まじめな性格で、ルールをきちんと守ろうとします。

こうしてもらえると助かります!!

- ・予定が変更になりそうな時は、あらかじめ教えてください。
- ・音や人混みなどの刺激を減らせるような環境調整してもらえると助かります。
- ・言葉だけの説明はわかりにくいので、写真や絵等を添えてもらえるとわかりやすいです。
- ・短く具体的に説明してもらえるとうれしいです。



注意欠如多動症(ADHD)のBさん

こんな一面もあります

小さいころからいろんなことに興味津々で、小学校時代はよくよそ見をして叱られていました。今は大事な仕事の予定を忘れたり、大切な書類を置き忘れたりすることがよくあります。周りの人からは「またか」とよくあきれられてしまいます。

- ・気配り名人で、困っている人がいれば誰よりも早く気づいて手助けすることができます。
- ・すばやい判断力と、行動力があります。また、持ち前の集中力で、複数の仕事を手早く仕上げることができます。

こうしてもらえると助かります!!

- ・私自身も、忘れないようメモしようと思っています。忘れていけないことは、メモするように声をかけてください。
- ・忘れ物が無いか、声をかけてもらえると、席を立つ前に自分で確認できます。



限局性学習症(LD)のCさん

こんな一面もあります

小さいときから本を読むことには興味がなく、漢字の書き取りや文章を書くのも苦手でした。今は、会議の時に大事なことを忘れまいとメモをとろうとしますが、ほとんど書けないまま終わったり、逆にメモをとることに一生懸命になると、全く会議の内容が分からなくなります。

- ・苦手な「書く」作業をできるだけ減らすため、ボイスレコーダーや、パソコン・タブレットなどを使いこなす名人です。

こうしてもらえると助かります!!

- ・指示はあらかじめメモやメールで渡してもらおうと、スムーズに仕事に取りかかれます。
- ・会議の時に、ボイスレコーダーやタブレットの使用を許可していただくと助かります。



自分や周りの人が「発達障がい」があるのかな?と感じたら...

● 本人ができること



- ・まずは自分の得意/不得意を知ることから始めましょう。
- ・得意なことを活かし、苦手なことは周りの人に伝え、協力してもらいましょう。
- ・苦手なことは周りの人の意見も参考にして、うまくいくコツを探りましょう。

● 周りの人ができること



- ・見え方や感じ方が違う人がいることを理解してください。
- ・本人の困り感に目を向けてください。
- ・本人が苦手なことは、一緒に対処法を考えましょう。
- ・得意なことを伸ばして自信をつけるかわりをしましょう。
- ・周りの人が期待していることを本人に合わせてわかりやすく伝えてください。

皆さんにわかっていたきたいこと

発達障がいのある方は、他の人が簡単にできることでも、うまくできないことがあります。できないことや失敗したことを責めたり、叱ったりすると、深く落ち込んでしまうことがあります。努力している点や上手くいっている点をほめた上で、できなかったところは、どのようにすればもっと良くなるかを肯定的、具体的に伝えていただくと、発達障がいのある方も自分の力を発揮できるようになります。



みなさんの理解に支えられ
特性を活かして輝けます!!

● 挿絵イラスト作家の紹介

長濱哲哉 (ながはまてつや)

2005年山形県山形市生まれ。現在、山形県立村山特別支援学校高等部。10歳のころ、お絵かきボードに「チョコアイスが食べたい」とかいて自分の気持ちが通じた事がきっかけで、絵を描くようになる。始めは手首がうまく使えず、お絵かきボードばかり使っていたが、色を染めたい!という気持ちから、紙に油性ペンで輪郭を描き、色鉛筆で染めるようになった。中学生のころから絵に自分が登場して、車を運転したり、紅白歌合戦で歌っていたり等、願望を描くようになった。公募展で入賞したことがきっかけに、人に絵を見せたり褒められる機会が増え、絵の具を使用して色を染めるようになり、絵の技術も上がった。そのころから公募展等で受賞することが多数あり、絵を発表する機会が増えた。より絵を描くことが自分の気持ちを伝えるコミュニケーションツールの一つになっている。

